

新年、明けましておめでとうございます。

NEXCO 西日本関西支社兵庫工事事務所でございます。旧年中はひとかたならぬご協力を頂き、本当にありがとうございました。

2011年にも新名神高速道路高槻～神戸間の一日も早い開通に向け一層の努力をいたしますので、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

昨年は、特に用地取得において地権者の皆さまの多大なご協力により、取得率70%を超えるに至りました(12月末で取得率74%)。また、暫定4車線設計協議につきましては、3月神戸市二郎地区の完了と、12月の宝塚SA追加による武田尾自治会及び玉瀬自治会との設計協議が無事、完了しました。残る川西市域、猪名川町域、神戸市域の各自治会との設計協議につきましても、一日も早く完了させて頂くよう誠心誠意尽力してまいりますのでご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

工事につきましては、橋脚高と張出し架設長では日本有数の規模を誇る「川下川橋工事」と新名神を山陽道及び中国道へ接続させる「神戸JCT工事」を始めに、神戸市生野地区の3件の工事用道路新設工事や、玉瀬工事・猪瀬工事という施工条件が極めて厳しい県道改良工事についても着実に進めることができました。引き続き、地域の皆さまとのコミュニケーションをしっかりと図りながら工事の影響が最小となるよう努めてまいるとともに、無事故・無災害で工事を進めてまいります。

昨年11月には川西まつりにおいて、地域の皆さまに新名神事業を広報させて頂く機会を頂き、まだまだ不十分ではありますが、新名神事業が着実に地域に浸透してきたことを確認した次第です。また当事務所で「チームしんめちゃんプロジェクト～守ろう北摂の自然～」の一環として行っているゲンジホタル保護対策について、昨年6月から行ってきた工事着手前の採取・飼育の試行がほぼ順調に行われ、12月に工事影響のない箇所への放流を行うことができました。引き続き、その他の自然環境保全対策も含め道路建設による影響を最小限にする取り組みを進めてまいります。

今年2011年は我々の開通目標まで6年という状況下で、まぎれもなく極めて重要な一年となります。我々は新名神というプロジェクトを通じ、地域の皆さまとのよりよい関係を築き、地域環境の形成にお役に立ちたいと考えております。この事業が将来、地域の皆さまから『新名神ができてよかった』と言って頂けるよう、今年も事務所一丸となって頑張っております。皆様の一層のご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成23年1月 西日本高速道路株式会社 関西支社 兵庫工事事務所 所長 小笹 浩司



シリーズ 新名神キーマンインタビュー（第10回）
～兵庫県立考古博物館 安部邦明副館長を訪ねました～

Q1 …新名神高速道路の埋蔵文化財調査でお世話になっております。最初に考古博物館の概要を教えてください。

A1 …兵庫県立考古博物館は、加古郡播磨町大中にあり、隣接する史跡公園「播磨大中国古代の村」との一体化をはかった「環境融合型博物館」として、また、兵庫県内の遺跡から出土した考古資料を活用し、誰もが、いつでも、どこでも博物館活動に主役として参加できる、新しいスタイルの「参加体験型博物館」としての機能を兼ね備えており、さらに、博物館の展示部門と兵庫県内の遺跡を発掘調査する調査部門が一体となった、全国的にも大変珍しい博物館として、平成19年10月にオープンしました。博物館1階では、時間の物差しとして土器を並べた「エントランス展示」に始まり、少し難しい発掘について優しく説明する体験展示室「発掘ひろば」では、発掘道具を使って土器や勾玉などの発掘体験ができます。そして「人」、「環境」、「社会」、「交流」の4つのキーワードで、県内出土の考古資料の展示や模型、映像などを駆使した「テーマ展示」では、復元された古代船や石棺を常設しており、実際に中に入れる日を設置するなど、体験型の展示が好評です。これに加え、特別展示室では歴史ファンや専門家の要望にも応える企画展や特別展も開催しています。

来館者に好評の考古学情報プラザは、兵庫県の考古学情報発信基地として、書籍や情報端末で「学ぶ」、「調べる」、「遊ぶ」に対応できるコーナーとなっており、体験学習室では、勾玉作りや土器作りなどを通して、古代人達の技術や工夫を学ぶためのメニューが揃っています。

地下1階の見学デッキでは、兵庫県内の遺跡で発掘された出土品の整理作業の様子を見ることができ、定期的にバックヤードツアーを実施して、間近で出土品を見学できますので、大変迫力があります。小さなお子さまでも楽しめる博物館ですので、ご家族では非ご来館ください。

Q2 …最近、兵庫県或いは新名神沿線から出土される代表的な遺跡などご紹介して下さい。

A2 …現在調査が進められている遺跡でいいますと、朝来市和田山町にあります池田古墳でしょうか。池田古墳は昭和40年に発見された全長141mの前方後円墳と呼ばれ、古墳時代中期以降では日本海側では最大の古墳です。昭和45年に計画された国道9号線バイパスは、平成20年度から調査を進めています。発掘調査では、葺き石を伴う古墳の段や周濠から家形の埴輪や水鳥形の埴輪など、大変興味深い遺物が出土し、当時古墳がどのように築造され、どのような祭りが行われていたかなどを知る上で、非常に貴重な成果がありました。これは、平成16年国の史跡に指定された、同じ朝来市にあります茶すり山古墳と並ぶ「但馬の王墓」の発掘調査として非常に注目されており、最終となる今年度の調査でもどんな貴重な発見があるか楽しみです。



兵庫県立考古博物館 安部副館長 他 博物館職員のみなさん

新名神の計画路線内では、平成21年度から確認調査を始めており、神戸市北区の堂垣内（どうかきうち）遺跡本発掘調査では、中世のお墓が見つかっています。これから川西市の西畦野（にしうねの）遺跡、猪名川町の広根遺跡や猪瀬（いぶち）遺跡などでも調査が予定されていますが、調査が進む中でまた新たな発見が期待されます。

Q3 …高速道路はよく利用されますか？利用された時の思い出話や弊社に対するご意見や要望などがございましたらお聞かせ下さい。

A3 …兵庫県内には中国道、舞鶴道、山陽道、名神の他、中国横断自動車道（姫取線）も整備されるなど高速道路網が充実していますので、他府県への移動には、公私ともに良く利用します。車窓から見える景色の移り変わりに感じながら走るの、非常に気持ちよいものです。また、休憩の度に立ち寄るサービスエリアでは、その土地の名産を使ったものを食べられるなど、高速道路を走る時の楽しみの一つですね。新名神でもサービスエリアの計画があるのでしたら、是非ユニークなものを作って欲しいですね。



【写真】 右：安部 副館長、若生部長、深江主査 左：インタビュアー 三枝・余田



兵庫県立 考古学博物館 展示室の開館時間
4月～9月 : 9時30分～18時
10月～3月 : 9時30分～17時
考古学博物館の詳細な情報は、
<http://www.hyogo-koukoku.jp/>
よりご確認ください。

第4回 川西まつりに出展いたしました！

平成22年11月14日（日）に行われました、川西市商工会主催の『第4回 川西まつり』に出展いたしました。まつりは、平成22年紅白出場の川西市出身 植村花菜さん（トイレの神様が有名！）のステージもあり大盛況に終わりました。当事務所は川西市へ移転して、参加が2回目となりますが、昨年よりも年々集客が増え、より多くの方に高速道路事業を知っていただけたのではないかと考えております。

出展コンセプトは『新名神建設事業のPR』と『弊社（ネクスコ）の認知度チェック』の2つ。新名神高速道路の事業説明パネルや模型を展示し、説明を行いました。また、今年も昨年と引き続きネクスコエンジニアリング関西・神戸管理事務所（高速道路管理を所掌）の協力の元、高所作業車の搭乗、高速道路のパトロールカーの展示を行いました。昨年と同じく長蛇の列！（最大30分待）併せて、新名神高速道路事業に関するアンケートを実施し、多くの方々にアンケートにご回答いただきました。



川西市のマスコット『きんたくん』と弊社のマスコット『スピーディ』とのツーショットが実現！！



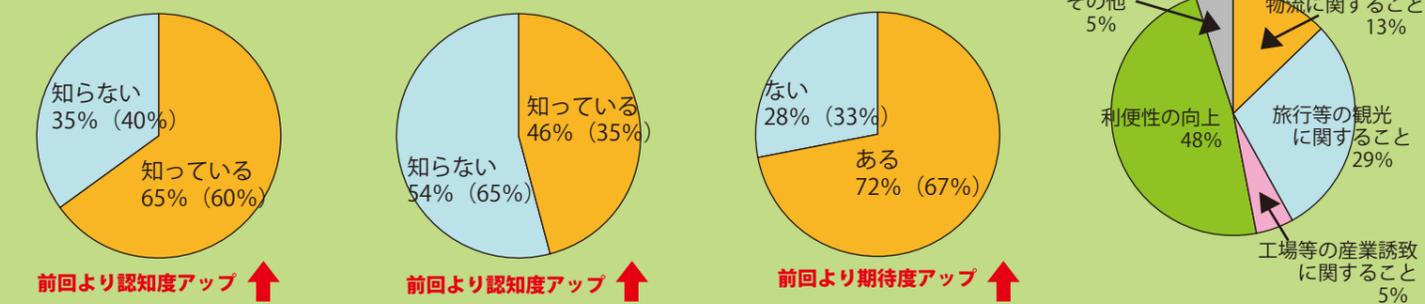
当日は津軽三味線の師範代 加賀女子さんにお越しいただき、津軽三味線を熱演！



昨年に引き続き高所作業車コーナーは人だかりの山。約500名の方に体験していただきました。

○アンケート結果（約600人の方々に協力いただきました）

※（ ）内の数値は昨年度アンケート数値



問1 新名神高速道路が建設される事を存じますか？ 問2 川西市域にインターチェンジが出来る事を存じますか？ 問3 新名神に期待される事はありますか？ 問4 新名神に期待することは？

事業進捗状況表（H22.12.31時点）

市町名	神戸市 北区					宝塚市			川辺郡 猪名川町			川西市					
	八多町	有野町	道場町			玉瀬	武田尾	切畑	猪瀬	つつが丘	広根	上野	石道	清流台	西畦野	北摂団地	東畦野
中	二郎	平田	塩田	生野													
地元協議 (完成6車線)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	—	(○)	—	○
地元協議 (暫定4車線)	—	○	△	△	△	○	○	○	地区対策協議会協議中			△	△	△	△	△	
幅杭設置 (率)	○	△	△	—	△	△	—	○	△	—	△	○	○	—	○	—	△
	約94%																
用地調査	○	△	△	—	△	△	—	△	△	—	△	○	△	—	○	—	△
用地取得 (率)	○	△	△	—	△	△	—	△	△	—	△	○	△	—	△	—	△
	約74%																
工事用道路 工事	—	—	—	—	△	①	—	△	△	—	—	—	—	—	—	—	—
本線工事	△					△	—			—							

凡例： ○ ⇒ 完了、△ ⇒ 実施中、空白 ⇒ 未着手、赤字 ⇒ 前号より推進した項目 (○) は確認書の締結が未了、工事の数字は工事発注件数